

なまこ壁通り

1. 目指すべき景観像

暮らしの中に溶け込んだ伊豆半島の歴史と文化を垣間見ることができる 松崎なまこ壁通り



① 地域の歴史と文化を感じさせるなまこ壁



② 地域への愛着ともてなしの心を感じるまちなみ

なまこ壁通りは、「地域の歴史と文化を感じさせるなまこ壁」と「地域への愛着ともてなしの心を感じるまちなみ」の2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 地域の歴史と文化を感じさせるなまこ壁

(1) 歴史・文化



なまこ壁が集まるまちなみ

松崎町内にはなまこ壁を施した家屋が約 190 軒点在しています。とりわけ「なまこ壁通り」を中心とした地域には、なまこ壁や塗りごめ造りの建物が比較的集中しており、往時の豪商の暮らしぶりを垣間見ることができます。

また、中には伊豆文邸や明治商家中瀬邸などのように、多数の文化財などを展示している史料館として開館している建物もあり、松崎町の歴史や文化を見ることがもできます。

しかし、こうした街並みの中でも、現在、なまこ壁の建物は減少しつつあります。これらのなまこ壁の建物の保全を図るため、景観法や文化財保護法に基づく地区指定などを通じた取組みを進めていくことも必要です。



(2) 路地空間



ちょっとした空間に見られる味のある景観

なまこ壁通りを中心とした地区には、なまこ壁を施した建物を見て歩く際、路地やちょっとした空間に、丸型の赤ポストなどの歴史的な趣が感じられる景観資源が見られます。そのほかにも、ときわ大橋や時計塔などの特徴的な意匠のなまこ壁や、散策の休憩スポットとしての東屋、奥まったところにある足湯場など、まち歩きを楽しむ人にとっては小さな発見が多数ある場所です。

こうした空間は、庭木などによりなまこ壁を施した建物を引き立てる工夫を行うとともに、地域の暮らしに調和した、控えめなサイン案内板の充実や、地域住民による花壇整備などを行うことが必要です。



〈景観形成の主な課題〉

- ・なまこ壁の建物の減少
- ・なまこ壁の建物の景観を損ねる建物や工作物などの立地

② 地域への愛着ともてなしの心を感じるまちなみ

(1) 地域活動



地域住民による積極的な歴史と文化の保存

なまこ壁を施した建物が多数残り、それらの集積が魅力となっている松崎町では、地域住民組織である「松崎蔵づくり隊」が蔵の保全活動を行っています。

また、地域住民を対象とした地区の歴史や文化を題材とする勉強会や講習会を開催することで、地区に対する理解が高まった結果、新たに建てる建築物を現存するなまこ壁に調和したものとなっていくなど、地域住民の意識醸成を図っていくことが必要です。



住民に愛され、来訪者にも愛される地域に向けた活動

「松崎町景観形成ガイドライン（平成 28 年 3 月）」には、景観形成のテーマを「花とロマンが広がる癒しの景観」とし、花と緑豊かななまちの形成を目指して、「松崎町花の会」などが町内の花壇において積極的な花植え活動を行っています。こうしたまちかどの花などちょっとした景観には、住民の地域に対する温かい配慮が現れています。

それほど広くない地域のなまこ壁通り周辺では、歩いて巡る来訪者がほとんどであり、自動車で通り過ぎる地域では感じるできない、ほっと気を落ち着かせる癒しの空間にを目指していきます。



〈景観形成の主な課題〉

- ・現在、取り組まれている花植えなどの継続実施
- ・なまこ壁の保全に対する理解の醸成

地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

暮らしの中に溶け込んだ伊豆半島の歴史と文化を 垣間見ることができる 松崎なまこ壁通り

目標1

なまこ壁を
守り継承する
景観づくり



景観づくり方針

- ① 地域の文化を物語る歴史的ななまこ壁の保全
- ② なまこ壁を引き立てる景観づくり

目標2

来訪者が
気持ちよく散策できる
景観づくり



景観づくり方針

- ① 来訪者をもてなす仕掛けづくり
- ② 地域の将来を担っていく人づくり

目標1 なまこ壁を守り継承する景観づくり

方針1-① 地域の文化を物語る歴史的ななまこ壁の保全

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● なまこ壁のいわれや地区の歴史を解説した観光案内看板の整備（移設含む） ● 歴史的建造物を保全する地区の検討と指定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(企画観光課) ● 町(企画観光課)
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の歴史を物語るなまこ壁の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(企画観光課)、所有者、地域住民

方針1-② なまこ壁を引き立てる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 自販機などの景観を損ねる物件への景観配慮（色彩等） ● ノスタルジックな雰囲気演出（街路灯等の整備） ● なまこ壁を引き立てる庭木などの緑の手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理者、事業者 ● 管理者 ● 地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● なまこ壁などの歴史的建造物と調和した建築物の建築 ● 橋上から眺めるまちなみ建築物などの修景 ● なまこ壁を引き立てる庭木の植栽 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者、地域住民 ● 町、地域住民 ● 町、地域住民

目標2 来訪者が気持ちよく散策できる景観づくり

方針2-① 来訪者をもてなす仕掛けづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内一斉清掃 ● まちなかの花飾り ● サイン案内板（注意喚起を含む）の色彩検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町、地域住民 ● 町、地域住民 ● 町(総務課、企画観光課等)、関係団体
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● まちなみを眺めながら休憩できるベンチの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(企画観光課)、管理者、事業者等

方針2-② 地域の将来を担っていく人づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民を対象とした勉強会の開催 ● まちづくりに対する住民意向調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(企画観光課)、地域住民 ● 町(企画観光課)、地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● なまこ壁をつくる技術の伝承 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(企画観光課)、地域住民

7. 既に動き出している取組事例

全体

- ・なまこ壁をつくる技術の伝承
- ・保全地区の検討と指定
- ・地域住民を対象とした勉強会の開催
- ・まちづくりに対する意向調査の実施
- ・自動販売機等の景観配慮
- ・町内一斉清掃
- ・まちなかの花飾り

サイン案内板の色彩検討



サイン案内板の色彩検討

なまこ壁の保全

なまこ壁に調和した建築物の建築

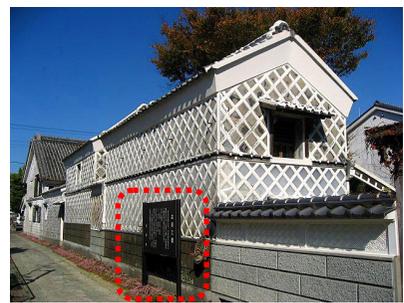
なまこ壁の保全

橋上から眺めるまちなみ建築物等の修景

なまこ壁に調和した建築物の建築
庭木の植栽、手入れ
休憩できるベンチの設置

なまこ壁の保全

街路灯の整備
観光案内板の移設



観光案内板の移設

凡例 紫字：短期的な取組み
緑字：中・長期的な取組み



■フェンスの景観配慮

STEP1 取組み

地域景観ミーティングにおいて問題点の洗い出し
※参加者：県・町・地域住民



STEP2 課題

私有地のフェンスが景観を阻害している



STEP3 対応

土地所有者とまちづくりに携わる住民及び町との話し合い



STEP4 成果

土地所有者からフェンスの撤去についての承諾を得る。また所有地の寄附を申し受ける。
※撤去後の土地の活用方法について検討中